



神鍼会会報

神奈川県鍼灸師会会報 102号

目次

横浜マラソンのボランティア活動に向けて…	02
鍼灸院の今昔ものがたり③……………	04
はりきゅう市民健康講座……………	06
赤十字救急法基礎講習会報告……………	08
介護予防運動指導員講習会……………	08
理事会報告……………	10

第11回全国大会は、横浜で開催決定!!

副会長 日野 博

毎年、全国の各都市で開催している（公社）日本鍼灸師会の全国大会。第8回は埼玉県が、第9回は岡山県が、そして今年行われる第10回は岐阜県が担当しています。そして平成27年度開催予定の第11回大会、全国の鍼灸のすべてが一堂に集まるこの全国大会を、我が神奈川県が担当することに決定いたしました。

当初、神奈川県が担当するのは、平成28年度開催予定の第12回大会でしたが、前倒しのかたちで、1年早く開催することとなりました。

これから準備を進めていくという段階での予定変更ということ、例年開催の日程（10月11日～12日）では会場の確保ができず、やむなく開催日程の変更という選択となってしまいました。

恒例となっている年間行事の中での日程変更には抵抗もある中、日本鍼灸師会をはじめ、本

会の理事役員のご理解ご協力の下で日程変更での開催にご承認いただきました。

また、本会は平成26年度には役員改選があり、伊藤昌芳会長が今期限りで任期満了の退任となる予定ですので、新たな会長の下で新しい役員構成での開催準備を進めることとなります。準備不足を理由に大会運営が失敗とされないように計画を進めていきますが、会員の皆様にはさまざまなご負担をおかけすることになってしまうかと思えます。本大会が有意義であり、且つ神奈川から発信するメッセージを全国の鍼灸師に届け、それを基に更なる発展を目指していくことを望んでいます。

本会会員の皆様には公私共にお忙しいことと思いますが、神奈川大会が大成功で終われるように、ご理解ご協力、お願い申し上げます。

日 程：平成27年10月31日（土）～11月1日（日）

会 場：パシフィコ横浜・アネックスホール

来年の横浜マラソンでのボランティア活動に向けて

会員 川崎市多摩区 江波戸 雄一

25,000人規模のフルマラソン大会「横浜マラソン」が、来年3月15日(日)に開催されることがほぼ決定しました。かの有名な東京マラソンが35,500人規模での開催なので、横浜マラソンの規模も相当なものであることは疑う余地もないですね。当会ではこの横浜マラソンでボランティア施術を行えるように、ただ今手続きを行っているところだそうです。

現在、東京都鍼灸師会を中心に、新宿シティハーフマラソン、東京マラソンでボランティア施術を行っています。そのボランティア活動に参加させていただいている私の経験を、当会の事業でも活かしていただけたらと思い、投稿させていただきました。この投稿をお読みになられて、一人でも多くの会員の先生方に「横浜マラソンのボランティア施術に参加したい」と思っただけいたら幸いです。それでは、以下にボランティアの状況を説明させていただきます。



新宿シティハーフマラソン ツ・ボランティアの様子

まず活動の目的は「治療」そのものよりも「鍼を身近に感じてもらう」、「痛くないことを理解してもらう」ことです。使用する鍼もパイオネックスのオレンジ(鍼長0.3mm)のみです。ただ目的がわかっている、いざ痛みを訴える患者を目の前にしたらいつもどおりの「治療モード」になってしまう先生続出です(笑)。



アンケートの様子

次に与えられた役割ですが、両大会とも「走った後のランナーのケア」でした。恐らく横浜の際もそうなると思います。完走したランナーに「おめでとうございます」、「今日の走りはどうでしたか?」など声を掛けながら治療にあたります。



東京マラソン・ランツボはりケアステーションの様子

次に治療型体についてです。2人1組になり、一方が問診、緊張部位の選定や鍼の貼付など「治療」を行い、もう一方が酒精綿や鍼を渡すといった「助手」をします。手術での執刀医とオペ看みたいな関係ですね。間近で色々な先生方の治

療が見られるので、大変勉強になります。ちなみに大勢のランナーがいらっしやるので（新宿400名前後、東京739名）、ブースは約4時間半あけ、ベッドは新宿8床、東京20床でしたが、一人のランナーにかけられる時間はベッドサイドに来てもらってから退出まで10～15分程度です。治療時間もあまりありませんので、張っている筋肉にペタペタとパイオネックスを貼る形がほとんどになります。しかしそれだけでもランナーの満足度はかなり高く、しかも「鍼って痛くないんだ」などと好印象を持ってもらえます。一連の作業も、馴れてくると5～8分程度で行えるようになっていました。



触診・治療を行う石田伸先生（右）と助手のわたし（左）

ランナーに「何に効くの？」などと質問を受けたら、呉竹学園の古屋先生や金子先生の論文の話をしてあげます。

また学生さんに受付を担当してもらいましたが、あまりの忙しさに人数が足りず、手の空いている（ベッドサイドにいない）先生に受付や誘導をしてもらい、なんとか凌ぐことができました。横浜マラソンの際も東京マラソン同様忙しくなることが予想されますので、ベテランの先生方にも「アンケートのご協力をお願いします」や「問診票の記入をお願いします」など、普段やらないような作業もしていただくことになると思います。

スポーツ現場でのボランティア活動が、当会でもこういった形で実現できるよう動き始めたことを大変嬉しく思っています。大勢の人数で、



神奈川県鍼灸師会から参加の先生方と

同じ目的のもと治療していくことは、なかなか思い通りの治療ができるわけではありません。多くの制約もあり、独自の施術をお持ちの先生方にとっては、やりにくい環境かもしれません。しかし、このボランティアは、鍼灸を受けたことのない一般の方々に、鍼灸のよさを知ってもらえるよい場となります。必ずや「参加してよかった」と思えるはずです。一人でも多くの先生方に参加していただき、一人でも多くの方々に鍼灸のよさを知ってもらいましょう！ご協力をお願いいたします。ぜひ来年の3月15日（日）は、一緒にお祭り騒ぎしましょう！！



ボランティア参加者全員での記念撮影

当日の詳細な状況は、拙ブログ「えばと鍼灸 マッサージ院 徒然日記」にアップしています。「東京マラソン はりケア」で検索の上ご覧ください。

巻頭言 (随想)

会長 伊藤 昌芳

石川ゼミとコラボした本会のナイトセミナーが、平成26年2月20日を持って終了した。

石川家明先生には、平成19年10月25日から実に7年もの長い間お世話になった。膝だけで15回。そのあと腰、肩、舌診と続いた。石川先生の鍼灸に対する造詣の深さは、本当に感激した。鍼灸の深淵なことがわかりかけてきた昨今ではあるが、残念なことにナイトセミナーのあり方を再検討するという事でコラボ事業は終了した。

私個人的には、たくさんの収穫を得た。何しろ臨床一筋で古典も読んだこともなく、深く勉強しなおしたいという希望を持っていたが、なかなか機会もなかった。しかしそれは、石川家明先生によってかなえられたように思う。心から感謝している。

崩壊の時代である。家庭崩壊、学級崩壊、医療崩壊など、毎日の新聞の見出しに崩壊の文字が目につく。SONYも消えゆく運命にあるのだそうだ。崩壊の後に希望があればよいのだが、瓦礫だけが残りかねない。このような時代に我々は生き残ることを模索しなければと思う。鍼灸業界に入って以来かれこれ40年。この業

界は常に生き残りをかけて頑張ってきた。しかし時代の波は厳しい。開業は36年前にしたが、当時は親孝行の名残が残っていて、具合の悪い親や家族をその子供たちが鍼灸院に連れてきたものだ。今は福祉の名のもとに介護事業が世に出てきて、現代の合法的な姥捨てといってもよいデイケアサービスに、今までの我々のお客を取られているのである。鍼灸をはじめ医学を勉強し、腕を磨いていれば食って行けた良き時代はかわった。時代を先取りした「保険で訪問鍼灸マッサージ」が横行しているが自費診療で生きてきた私には今一つピンとこない。鍼灸ができるのは医師もしくは我々鍼灸師だけである。鍼灸師は鍼灸の資格を生かして他の分野に進出も可能である。

深淵な理論と術を生かして鍼灸一筋で生きていこうとする鍼灸師は尊重されなければならないが、鍼灸の資格を生かして介護やスポーツの分野に進出してそこで鍼灸師の社会的ニーズを掘り起こすのも応援しなくてはなるまい。

鍼灸師会は組織である。しかも公益社団である。公益社団という組織力を十分に生かしていけば必ずや新しい何かが生まれるはずである。

鍼灸院の今昔ものがたり③

～流行る鍼灸院へのヒントを若き鍼灸師に～

— 100号から掲載してまいりました鍼灸院の今昔ものがたり。TOMOTOMO（友と共に学ぶ東洋医療研修の会）代表の石川家明先生からのメッセージも最後となります。このものがたりを読まれて、何かヒントが見つければいいですね。最後の今回は、鍼灸の適応とこれからの未来のついて語っていただきました。

鍼灸適応の患者は減ったか

さて、鍼灸院の患者事情は昔と今ではかなりの変化があります。例えば喘息の患者さんが

すっかり鍼灸院からいなくなりました。当時、喘息は上手くコントロールできずに、子供達用の転地教室も幾つか地方に点在していたものです。それが、なぜ来なくなったかの答えは簡単です。西洋医学でコントロールできるようになったからでしょう。

私たちが得意な膝関節痛も減少しました。腰痛と膝痛が来院患者一、二位だったものでした。もちろん、今でもかなりの人数ですが、当時は患者さんが「膝が悪くて整形外科へ通つてます。」と言っても、直ぐにこっちに来るに決まっていると腕組みしながら待っていたもので

す。西洋医学ではなかなか治せず、患者自身も通っているうちにそう認識するようになるからです。でも、なぜ減ったのでしょうか？特別に治療技術が進歩したとは思えません。私は患者に対する対応が変わってきたからだと考えています。以前は製薬会社が作った運動療法パンフレットを与えるのみでしたが、今では「患者様」として病院内で丁寧に指導するところが増え、適時を選んでヒアルロン酸の注射をできるようになったからだと思います。かなり「本治療法」に近づいた治療を行う結果、多くの患者さんが満足できるようになったので、鍼灸院に膝の患者さんが戻って来ない時代になりました。でも、世の中腕の良い整形外科医ばかりではないので、かなり我々は助かっています。(笑)

帯状疱疹後神経痛は私たちの独壇場でしたが、今は患者が激変です。そもそも帯状疱疹のひどい患者さんがいなくなりました。抗ウイルス薬の保険適用からです。初期のうちに使うことができ、初期疼痛や帯状疱疹後神経痛を抑えることができようになりました。私たちの仕事は早期に患者さんを発見してあげられることです。

さて、有病率30%のもはや国民病と言われる花粉症はどうでしょうか？30数年前の花粉症は鼻水だけで目の痒みの患者さんはほとんどいませんでした。寒証と判断できるので小青竜湯だけで治癒可能でした。ところが、昨今の花粉症は目の痒みの方がつらいと熱証に変化していきましました。寒熱挟雑ですので、鼻水、目の痒み共に治癒軽減が難しくなっています。鍼灸院を賑わしてくれる花粉症ですが、去年あたりから出てきている新薬は非常に有効で、ともともクリニックでは「ナゾネックス」を置いています。患者にすこぶる好評です。数年前から発売されていますが去年から頻繁に使われ始めました。噴霧用ステロイドなのですが、鼻粘膜しか作用せずに、肝臓ですみやかに代謝されるので、今までのステロイド薬の全身投与と同じ副作用は起きにくい夢のような薬です。また、同時に処方されやすい抗ヒスタミン剤ですが、こちらの副作用の眠気が良く知られています。ところが、患者自身が気づかない重大な副作用がインペアドパフォーマンスです。中枢抑制が知らない間にかかってしまい、判断力、集中

力、仕事能率が著しくダウンしてしまう現象です。抗ヒスタミン剤1回量を服薬するとシングルウィスキー3杯(90ml)分とほぼ同等のインペアドパフォーマンスが起きると言われています。それを起きにくくしたのが第2世代抗ヒスタミン剤です。ワープロなどの入力ミスが起きないと実験データに証明されています。鍼灸院に来院される花粉症の患者さんは、もっと難治な症例が集まってくるのが予想されます。

最後に、一番の話題である「神経因性疼痛」の話をしておかななくてははいけません。西洋医学で治らない痛みの患者さんたちと表現しておきましょう。ところが近年「神経因性疼痛」の患者さんたちを、西洋医学が治せるようになりつつあるようです。リリカという薬が鳴り物入りで出現したからです。「これは鍼灸の患者が減るかも知れない」と思ったほどですが、実際は非常に副作用の多い薬で、使い勝手が悪いようです。しかし、難治性疼痛患者を見ていると、それでも効果をあげていることを認めなくてははいけません。リリカに続いて、糖尿病性末梢神経障害や線維筋痛症に適応取得したサインバルタ、また副作用のほとんどないノイロトロピンというのも出てきました。陳旧性の三叉神経痛、線維筋痛症様の全身の痛み等に使っていますが、感触は良いようです。

上記のこれらは本来鍼灸院に来ていた患者さんたちですが、時代の変化により西洋医学と共用するようになった例です。

鍼灸院 10年の計

昨今の鍼灸院の苦しい台所事情は日本経済そのものの影響の他に、西洋医学の進化があることを忘れてはなりません。「敵を知り己を知る」鉄則はここでも大切です。流行るためのカンフル剤はありません。「国家百年の計」よりも、「鍼灸院10年の計」を計り、その計画を即実行する必要があります。振り返れば10年間は短いものです。若手の皆さんは、これからの10年を如何に学び、何を学ぶのかが問われるのだと思います。そのためには今日から始まらなければなりません。1人でできなければ皆とやることです。(おわり)

はりきゅう市民健康講座 in 金沢区

会員 横浜市金沢区 新井 洋崇

3月9日（日）、横浜市富岡並木地区センターにて、はりきゅう市民健康講座「あなたのひざにおもてなし～ひざの痛みのツボ療法～」が開催された。

当日までの数日間は不安定な天候が多く、また、会場が最寄り駅から少々距離がある関係で当日の来場者数が少し心配だったのだが、蓋を開けてみれば当日の飛び入り参加が出るほどの盛況ぶりだった。



講演する石田智子先生と参加者でいっぱいになった会場風景

私が神奈川県鍼灸師会の服部先生から今回のお誘いを受けたのは前年の秋口だったろうか、諸々の事情から一度はお断りしたものの、やはり縁というのはいったいあったのだろう、年明けの講習会で直接先生とお会いしたことから、今回の講座運営に参加させていただくことになった。

私としては、こういったイベントの運営に関わることは初めての経験だったこともあり、不安と緊張もあったが、服部先生はじめ、講座のメインを飾る石田智子先生（以下、石田先生）や千葉先生、久保田先生、柳原先生、森下先生、また、当日の会場整理や来場者の誘導をしてくれた方々のご協力のおかげで何とかやり通すことができた。

当日は天候もよく、さわやかな晴天に恵まれた格好のイベント日和。開場時間を待っていた来場者が徐々に集まり、予定の座席もほぼ埋まったころ、イベントが始まった。

おおまかな流れは、石田先生による東洋的治

療の必要性に関するスピーチ、ひざ痛の実態、簡単にできるストレッチ法の紹介から窪田先生による刺鍼の実演、膝周りの取穴体験など。

進行中は随時来場者からの質問にも答え、取穴時にはスタッフが補助をしながら取穴位置を実際に触って覚えてもらうという双方向型、体験型のイベントだ。

当初やや緊張気味だった来場者もメインの石田先生の講座が進むに連れてリラックスしたのか、控えめだった挙手による質問も、後半にはひっきりなしに行われるようになっていた。これは石田先生のフレンドリーなキャラクターによるものだろう。

また、今回の来場者はそのほとんどが鍼灸治療未経験で、かつ膝などに何かしらの症状を持つ方々だった。それもあって窪田先生による鍼施術の披露はとて興味深かったようで、皆、食い入るように施術に注目し、中には熱心にメモをとっている方も見受けられた。

その後の膝周りの取穴体験でも個々の来場者から細かな質問や症状の訴えなどがあり、今まで気にはなっていたが、鍼灸の実態がわからず不安という層が少なからずいるということが証明された。

我々が鍼灸を普及していくためには、こういった層にどうやって「わかりやすく」、「説得力を持って」アピールしていくかが鍵なのではないかと強く思ったイベントだった。



はりきゅう市民講座に協力していただいた会員の先生方

『あなたのひざに おもてなし』を終えて

会員 横浜市神奈川区 石田 智子

この度、神奈川県鍼灸師会の伊藤会長より「市民講座」の講師依頼をお電話にて直接お声をお掛けいただきました。浅学非才の身を承知しながら講師役を引き受けさせて頂きました。平成20年の生涯学習講座「腰痛」の講師として招かれて以来の担当講座で、しかも今回は委員として準備段階から参加するということもあり、初めてづくしの良い経験となりました。

最初に『お・も・て・な・し』というテーマをお聞きした時に、「それならば患者さん一人ひとりをきちんともてなしてからお帰り頂きたい」と即座に思いました。内容や構成をそのテーマに合わせて考えさせて頂きました。例えば、そのための工夫として、来場された方達全員の膝への取穴を試みたり、できるだけ近い距離感で質問を受け付けたりするような配慮を考えさせて頂きました。また、来場者のなかには鍼灸未経験者もいる中で、鍼灸がいかに安全で衛生的に行われているかということを含めアピールできるようにと、鍼灸実技披露の時間も設けました。情宣がタウンニュースや朝日新聞に掲載されたこともあいまって、多くの市民にいらしていただけたことが何よりも喜ばしいことでした。



ストレッチの正しい方法を実演

個人としても、委員会の打ち合わせ・準備の時間から、講演、片付けまでをチームとして一緒にでき、協同で一つのことを作り上げる楽しさも経験することができました。また、委員会

では『整形外科や他科へ送ったほうが良いケース』などのミニレクチャーも加えてほしいとお話しも頂き、単なる市民講座の内容のみならず、昨今プライマリケア学会や医療教育界の目玉である鑑別推論についても少しでしたが皆と一緒に学べる機会を得ることができました。系統的に勉強するには時間が足りませんでした。それでも県鍼灸師会の活動に参加するからこそ得ることのできる嬉しい「おまけ時間」だと思っています。



実際に取穴を行い、膝のツボを教える小宮猛史先生

今回、一般市民に少しでも鍼灸治療の有効性をアピールできて、また、このような学びのある有意義な活動の機会を頂けて、誠にありがとうございました。お声をお掛け下さった伊藤会長、あらゆる事務的な作業を引き受けて下さった服部先生、吉田先生、他諸先生方にこの場をお借りして心より御礼申し上げます。



鍼の実演をしながら質問に答える秦宗広先生

赤十字救急法基礎講習会報告

企画部長 下田代 純一

一般の方々へ呼びかけ、受講希望を募ることを前提に、『赤十字救急法基礎講習会』を平成26年3月9日（日）に、かながわ労働プラザで開催した。受講者は33名で、本会会員からの参加は1名であった。

講習会の内容は、一次救命処置（心肺蘇生やAEDを用いた除細動）を行ない、救急隊への引き継ぎまでの救命の連鎖を学んだ。実技検定と学科検定の後、日赤から受講証と認定書（検定合格者）が即日交付された。

資機材の都合上、受講の定員枠を設けたが申し込み開始2週間で定員枠を超えてしまい、急遽、受講枠を増やして対応するほどであった。

3年前の震災以来、県民の心肺蘇生やAEDの使用を中心とした救急講習への関心はますます高くなっており、神奈川県鍼灸師会としても県民の救命率向上に役立てるように、今後も継続的に救急救命法の講習会を企画していきたい。



講習会の様子

「介護予防運動指導員講習会」に参加して

会員 横浜市青葉区 三好 寛朗

今年の初めから全5回にわたり介護予防運動指導員の講習会に参加してきた。

介護予防という聞き慣れない言葉。現在五人に一人が寝たきりといわれるものの、残りの四人は元気に暮らしている。この四人が高齢者にありがちな体力低下（≒筋力低下）によって引き起こされる要介護状態になってしまうのを防ぐというのがキモだ。日頃筋力低下だけは鍼灸治療ではいかんとも思っていた矢先の案内が届いた。丁度よいタイミング。早速申し込んだ。

講義内容は大変充実していた。東京都健康長寿医療センターの統計に裏付けされた研究結果を基に、要介護状態に陥る原因を様々な角度から見た解説が紹介され、適切なトレーニング方法による体力向上がなされれば、その大半が防げるという話に集約されていった。

中でも私にとって「！」だったのは、高齢者でも「筋力アップ」が図れるという事実だ。年

寄りだとせいぜい現状維持が関の山と高を括っていたが、さにあらずだ。筋トレはやっただけ成果が出る。もうひとつ、高齢者は動物性タンパク質、特に「肉」を食べと言う話だ。そりゃそうだ。筋トレしているのにタンパク質を摂らなければ筋肉にはならないし、細胞膜を作る脂質だって必要だ。中年期における生活習慣病予防を念頭に置いた食事は（疾病のない）高齢者には適応しないのだ。これらのことから人類が経験したことのない超高齢社会を迎えた現在、今までのふんわりとした高齢者像では対応しきれないということがよく理解できた。

この講習を元に患者さんや地域に情報発信をしていきたいと思う。だがいかんせん、この講習の最終日には相当しっかりした認定試験がある。奮闘努力をした記憶はあるのだが、今日現在（3月8日）合格通知が届いていない。私はまだまだ青臭い中年だが焼き肉でも食べて待つとしよう。

追伸：4月2日に無事、合格通知が届いた。これで準備は整った。あとは、患者さんや地域に対して情報発信していき、一人でも多くの高

齢者が、一日でも長く、元気に楽しい日々を送れるよう、お手伝いをしていきたいと思う。

介護予防運動指導員養成講座を受講して

会員 横浜市戸塚区 茶鍋 浩

全5回の日程で、6万5千円を支払い参加しました。しかも最終日にはテストまでありました。決して安くない金額の上、全日程が日曜日と祝日（私の唯一の息抜きの日です）で、絶対に元を取ってやるという意気込みでの参加でした。また、鍼灸師だけでなく他職種で参加されている方もいらっしゃいました。



実技の解説をする日本鍼灸師会の松浦正人理事

結果はどうだったかって？もちろん大満足です！！強いて言えば、座学が多かったことでしょうか。学生時代は言うに及ばず、社会人になってからも、研修や講習ではよく眠っていました。学生時代についてあだ名が“眠りの森の殿”でしたから、正直きつかったです。それでも、まぶたの重さを吹き飛ばすくらいの内容でした。そう言えば、別の研修で伊藤昌芳会長の隣に座ったことがあり、そのときも分をわきまえず寝てしまい、休憩時間に会長から眠気覚ましのかみとキャンディーをいただいたことがありましたっけ・・・その節は、会長、ありがとうございました！（笑）

さて、その内容についてですが、普段日常の臨床に役立つものばかりでした。単に学生時代の（はて、何年前の話やら・・・）復習ではなく、

新たな情報や知識、ものごとに対するアプローチの方法など自分自身をとらえなおすことや患者さん（患者さまと呼ぶのは個人的には嫌いです）に伝えることのできる情報がてんこ盛りでした。



トレーニングマシンのレクチャーを受ける参加者

介護予防と謳ってはいるものの、栄養学、尿失禁、行動科学などは、少しアレンジするだけで、単に高齢者だけでなく老若男女（舌を噛みそう・・・嚥下訓練＝舌の運動訓練が必要かも）にも十分に活用できるものと思います。



実演する参加者

最後になりますが、研修を主催し、講座を受け持たれた先生方に厚く御礼申し上げます。

平成 25 年度 理事会報告

事務局長 保険部長 吉田 志郎

第 3 回理事会 (抜粋)

平成 25 年 9 月 29 日 (日) 18:00 ~ 20:00

会場：(公社) 神奈川県鍼灸師会

出席：伊藤、清水、日野、千葉、服部、喜多見、
下田代、秦、菅澤、吉田 (書記)、
沼上 (相談役)、石田 (監事)

欠席：神山 (監事)

議事録署名人：伊藤、石田

報告 1：介護予防運動指導員養成講座の件

(公社) 日本鍼灸師会主催の「介護予防運動指導員養成講座」神奈川県横浜市開催のプログラムが決定したので、率先して参加をお願いしたい。

(吉田保険部長、服部保険担当)

報告 2：(公社) 日本鍼灸師会全国大会の件

10 月 13 日 (日)、14 日 (月・祝) に岡山で開催される全国大会に、神奈川県からは会員 10 名、会員外 3 名、学生 1 名の計 14 名の参加申し込みがあった。

(日野総務部長)

議事 1：事務所利用申請書および報告書の件

会員が事務所を利用できるように「事務所利用許可申請書」ならびに「事務所利用報告書」の様式を作成、また「事務所利用規程」を施行細則に追加することが全会一致で承認された。

(伊藤会長)

議事 2：平成 25 年度はりきゅう普及活動 (旧市民フォーラム) の件

本年度のはりきゅう普及活動第 1 回目として、川崎市の市民を対象とした「はりきゅう健康講座」を 12 月初旬～中旬に開催することが全会一致で承認された。

(服部業務執行理事)

議事 3：GK カードの件

神奈川県より GK カードを公益事業として認めるとの回答があったことを受けて審議した結果、全会員に費用会負担で配布することが賛成多数にて承認された。

(清水学術部長代行)

議事 4：月間事業報告書の件

事業の透明性を高めるため、各部部長は毎月「月間事業報告」を作成し、事務所にファイル保管することが全会一致にて承認された。

(日野総務部長)

以上

第 4 回理事会 (抜粋)

平成 25 年 10 月 20 日 (日) 17:00 ~ 19:00

会場：(公社) 神奈川県鍼灸師会

出席：伊藤、清水、日野、千葉、服部、喜多見、
下田代、秦、菅澤、吉田 (書記)、
沼上 (相談役)、神山 (監事)、石田 (監事)

議事録署名人：伊藤、神山、石田

報告 1：全国大会の件

10 月 13 日 (日)、14 日 (月・祝) に岡山で開催された (公社) 日本鍼灸師会全国大会には 700 名強の参加があり、また青年部長会議が行われて会活性化につながるコラボ事業が企画された。

(伊藤会長・菅澤青年部長)

議事 1：平成 25 年度はりきゅう普及活動の件

本年度第 1 回目ははりきゅう普及活動として、「あなたのひざに おもてなし ～ひざの痛みのツボ療法～」と題した市民健康講座を、12 月 23 日 (月・祝)、ミューザ川崎において開催することが全会一致で承認された。

(服部業務執行理事)

議事 2：学術講習会参加費設定の件

学術講習会参加費について主務官庁である神奈川県から、会員に対する非会員の参加費を 2 倍程度に設定することは問題ないとの見解が示されたため、12 月から非会員は会員の 2 倍、学生は会員の半額に改正することを提案、全会一致にて承認された。

(清水学術部長代行)

以上

臨時理事会 〈3 回目〉 (抜粋)

平成 25 年 12 月 25 日 (水) 19:00 ~ 21:00

会場：(公社) 神奈川県鍼灸師会

出席：伊藤、清水、日野、千葉、服部、喜多見、
下田代、秦、吉田（書記）、
神山（監事）、石田（監事）

欠席：菅澤、沼上（相談役）

議事録署名人 伊藤、神山、石田

議事 1：平成 27 年度全国大会 in 神奈川の件

①会場・日程について

第 1 候補である平成 27 年 10 月 11 日（日）、12 日（月・祝）は横浜周辺のホテルの予約が困難であること、また、コンベンション会場であるパシフィコ横浜アネックスホールも 10 月 31 日（土）、11 月 1 日（日）以外は空いていないことが報告された。このため、日程変更について（公社）日本鍼灸師会に諮ることを前提とし、10 月 31 日（土）、11 月 1 日（日）にパシフィコ横浜アネックスホールを仮予約する一方で、動員目標 1,000 名を収容できる会場について引き続き探すことで承認された。

（下田代企画部長）

②大会会長ならびに実行委員について

大会会長は、平成 27 年度在任中の開催都道府県会長が就任することになっているが、本日の理事会において伊藤昌芳会長が今限りで任期満了退任する意向を表明したため、次期会長が不在になることを受け、清水慎司副会長を仮の大会会長として実行委員会を進めていくことが全会一致にて承認された。また、実行委員長には日野博副会長が、実行委員には理事全員と委嘱を受けた会員 4 名が就任することが承認された。なお、平成 26 年度定時総会において役員改選が行われることから、この実行委員会は定時総会までの暫定的なものである。

（伊藤会長、清水副会長）

議事 2：サヴァイクリニックの件

サヴァイクリニックより申し出のあった「会員およびご家族の健康診断のご案内」について、会員に配布・周知してよいか検討をした。その結果、内容・料金ともに良心的で充実しており、会員のメリットにつながるということで、全会一致にて承認された。

（清水副会長）

以上

第 5 回理事会（抜粋）

平成 26 年 2 月 9 日（日） 18：00～20：45

会場：（公社）神奈川県鍼灸師会

出席：伊藤、清水、日野、千葉、服部、喜多見、
下田代、秦、菅澤、吉田（書記）
神山（監事）、石田不二夫（監事）

オブザーバー：石田伸、小宮、鷲田

欠席：沼上（相談役）

議事録署名人：伊藤、神山、石田不二夫

議事 1：平成 26 年度事業計画（案）、予算（案）
ならびに定時総会の件

1 月末日を期限として各部部長より提出された平成 26 年度事業計画（案）および予算（案）を基に、現在正式な案を調整中であり、3 月 23 日（日）の第 6 回理事会で提示、県には 3 月 31 日までに提出することにしたい。また、平成 26 年度定時総会の開催日を平成 26 年 5 月 18 日（日）としたい。上記の提案は賛成多数で承認された。

（千葉財務部長）

議事 2：平成 27 年度全国大会 in 神奈川の件

平成 26 年 2 月 2 日（日）に実行委員各位が会場候補のパシフィコ横浜アネックスホールを視察し、その後開催した実行委員会において開催日を平成 27 年 10 月 31 日（土）、11 月 1 日（日）、会場をアネックスホールとすることが正式に決定された。また、懇親会はマリnlルージュ貸切りによるディナークルーズとすることを考えており、本日、日野実行委員長とともに視察してきた。上記の案は賛成多数で承認された。

（清水副会長）

議事 3：学術講習会等の情報提供電子化配信の件

会員より、情報提供の手段を現在行われている郵送からメール配信に切り替えてはどうかという提案があり、検討を行った結果、まず全会員に対してアンケート調査を行った上で情報提供手段に関する方針を決めることが賛成多数で承認された。

（日野総務部長）

議事 4：ボランティア活動の件

平成 27 年 3 月 15 日（日）開催予定の横浜マラソンに当会が鍼ケアのボランティアにエントリーするための準備として 2 月 23 日（日）の東京マラソンを役員 3 名が視察に行く。これに先立ち、2 月 13 日（木）に開催されるボランティアスタッフ研修セミナーには、会員の江波戸氏のほか、日野、石田伸、秦も出席する。上記の提案は賛成多数で承認された。

（日野総務部長）

以上

納涼会報告

企画部長 下田代 純一

平成 25 年 8 月 18 日 (日)、スキルアップ講座終了後に、新事務所の隣にある『ミルバーゼ横濱』にて納涼会を行いました。伊藤昌芳会長をはじめ、23 名の先生方にご参加いただきました。

司会進行は永島達矢先生にお願いし、料理、お酒の手配をはじめ、恒例の『一発芸』も披露され、大いに会場を盛り上げていただきました。

今回の納涼会は、新しい事務所のお披露目も兼ねていましたので、新事務所の近くに会場をご用意いたしました。当然、宴会の話題は新しい事務所のこととなり、「小さな行事でも鍼灸師ができるものをさがして、何かをしよう」など、新事務所効果なのでしょうか、お酒とあいまって鍼灸ロマンを語り合うきっかけになったようです。我々鍼灸師が地域で生かされ、地域に生きている恩返しのできたらいいと思います。

また、参加頂いた前田栄一先生からは、「優れた鍼灸の技、知識を次世代に継承してほしい」とのお話も頂きました。このように、先輩方に「元気」の言葉を頂けることが、会に属す一番の喜びです。

我々の仕事は、『気』を養うことが大切だと思います。このような納涼会で、先輩や同期からのエネルギーを感じて、『気』を養い、日々の診療に生かしていきたいと思っています。納涼会にご出席いただいた先生方に、心より厚く御礼申し上げます。



納涼会記念写真 (提供：徐英詞先生)



伝統医療の未来を創造する。

東洋医学教育の歴史の中で、確かな実績と信頼を築いてきた呉竹学園。

未来を見据え、次の医療を担う人材を育成し、社会に貢献する努力を続けます。

<http://www.kuretake.ac.jp>

呉竹鍼灸柔整専門学校

- 鍼灸マッサージ科
- 鍼灸科
- 柔道整復科

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-7-24 TEL:045-471-3731



東京医療専門学校

〒160-0008 東京都新宿区三栄町3 TEL:03-3341-4043



呉竹医療専門学校

〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-185-1 TEL:048-658-0001



平成 25 年度 忘年会

会員 横浜市西区 永島 達矢

平成 25 年 12 月 8 日（日）に、関内のレストランパー『QUEEN-MERRY』にて恒例行事である忘年会を開催いたしました。この度の忘年会で幹事を務めさせて頂きましたわたくし永島から、その時のご報告をさせていただきます。

神奈川県鍼灸師会の事務所が中区へと移り、初めての忘年会になることから、豪華客船をモチーフとした QUEEN-MERRY で開催し、港町に相応しいクルーズパーティーと洒落込みました。



伊藤会長を含め、サヴァイクリニック様、(株)丸菱産業様、(株)ダイキン様の業者様の賛同も得られ、総勢 4 2 名もの方々にお集まり頂き、終始賑やかな雰囲気での忘年会でした。



当日は忘年会ですのでイベントを用意。鍼灸の話に花を咲かせたい先生にはうるさかったか

もしれませんが、一年に一度の忘年会。賑やかに年を締めたく実施させて頂きました。イベントの内容は、5 種類の艾を見て触って、艾の品名を当てるという『もぐさマイスター』を決めるもの。何と、全問正解の先生が 2 名も出るなど、レベルの高さを感じました。また、「その年の思い出に残る良き施術がありましたら教えてください」のアンケートに答えて頂き、発表。他にも、巨大クラッカーを鳴らしたり、健康度測定器を持ち込んで測定をしたりと数々のイベントで盛り上がりました。

しかしながら一番の盛り上がりは、参加された会員の皆様の語り合いだったと思います。同業同志として情報交換を語り、仲間をふやして横のつながりを広げたり、日々の施術の問題点のアドバイスをもらったりして、実りある宴会であったと思います。これは鍼灸師の集まりならではの宴であったからでしょう。



2 時間半の忘年会が、あっという間に過ぎてしまい、語り尽くせぬ話は二次会のテーブルへと場所を移し、更なる話で盛り上がっていました。

鍼灸師会の忘年会は、毎年非常に盛り上がり、熱く、そして楽しい忘年会なので、平成 26 年の忘年会も数多くの会員の諸先生方が参加して頂けることを期待し、語り合えることを楽しみにしています。

編集後記

会報102号と広報誌(ACUMO)3号をお送りします。今回は、経費削減のために会報と広報誌を一緒に郵送させるため、会報の発行が一ヶ月ほど遅くなってしまったこと、心よりお詫び申し上げます。

この冬のソチオリンピックも終わりました。このオリンピックでは、感動的なシーンがいくつもありました。モーグルの上村愛子選手は、5度目の正直はならなかったものの、滑走後は「いい滑りができた。点数は点数で」と、表彰台に滑り込んだカーニー選手よりも確実にきれいで素晴らしい滑りを魅せてくれた。フィギュアスケートの浅田真央選手は、初日のショートプログラムで信じられないミスを連発し、精神的に大きなダメージを受けた翌日のフリーで、会場中が涙と感動に包まれるような完璧な演技を魅せてくれた。常日頃思うのだが、日本の報道は、選手にプレッシャーを与えすぎる気がしている。そのプレッシャーを楽しめるような体操の内村航平選手や水泳の北島康介選手などはいいが、彼らのようにすべての選手がプレッシャーに強いわけではない。特にオリンピックに出場する選手のほとんどはプロではない。むしろ、一般人である。大会前の煽るような報道は避け、最高のパフォーマンスを表現できる環境を整えてあげることが、日本のメダル数の増加につながるのではないだろうか。そして、メダルを取った選手を褒め称えてあげられる報道の仕方を切に望みたい。

前置きが長くなってしまったが、今回のソチオリンピックで書きたかったこと。それは、フィギュアスケートの羽生結弦選手のこと。19歳という年齢でありながら金メダリストとなった彼は、知る人ぞ知る「鍼灸」の施術を受けている選手の一人で、金メダルをとった演技のときも、首にはセイリンの「パイオネックス」をつけていた。世界で活躍する選手が鍼を使用し、いい結果を残す。これ以上の宣伝はない。わたしも何人ものプロスポーツ選手を施術している。その選手たちが活躍できるように、試行錯誤しながら、努力している。そして、その選手たちが結果を残してくれたあと、

鍼灸に興味のなかった方、興味はあったが痛いというイメージから敬遠していた方など、たくさんの方から予約があった。現在、鍼灸の経験者は日本の人口の5%未満といわれている。その95%の方々に興味を持ってもらい、鍼灸院に足を運んでいただき、鍼灸の効果を実感してもらおう。経験者の絶対数を増やすことこそ、鍼灸の発展につながると信じている。多くの開業されている鍼灸師の先生方が食べていける、そんな時代が迎えられるよう、小さな会務をコツコツと行っていると思っている。そんな思いを込め、今回の広報誌(ACUMO)3号は「スポーツと鍼灸」と題し、プロダーツプレイヤーの檜山亜紗子プロにインタビューをさせていただいた。プロならではの話や鍼灸との関わりなども語っていただき、鍼灸の可能性を感じさせる内容となっている。同封されている広報誌を、ぜひ鍼灸院の待合室に置いていただきたい。

来たる5月18日(日)に、当会は総会を迎える。理事選挙が行われることになるが、現会長の伊藤昌芳先生が勇退されるということで、新会長のもとでの2年間となる。この間、全国大会が神奈川で行われることが決まっており、わたしもできる限りの協力をしなければと気を引き締めているところだ。更に来年3月には、横浜マラソンの鍼灸ボランティアも行われる。過去の歴史などはあるが、これからは当会も他団体と力を合わせなければならない時代である。東京都鍼灸師会、神奈川県鍼灸マッサージ師会と協力し、また会員の諸先生方の力をお借りし、必ず横浜マラソンの鍼灸ボランティアを成功させたいと思う。どうかご理解ご協力、よろしくお願いいたします。(H)

発行所：公益社団法人 神奈川県鍼灸師会
 発行者：伊藤昌芳(会長)
 編集責任者：秦 宗広(広報・普及部長)
 編集委員：江波戸雄一
 制作・印刷：(株)キューアイ・マネージ
 発行日：平成26年4月28日

ノンシリコン製
カナケンディスポ鍼 輝
Kagayaki
 エチレンオキサイドガス滅菌済

- EOG滅菌済
- 鍼管付
- 金属鍼柄

直販代引き専売品

ストッパーチップタイプ タブ付

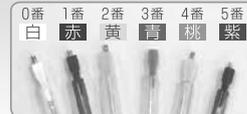
カナケンディスポ鍼 **輝**
Kagayaki

TAB

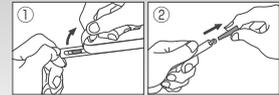


色でわかる鍼の太さ

鍼尖をガードするストッパーチップと、鍼管の色で太さを判別。



●使用方法



- ①カバーを剥がして針を取り出します。
- ②針を固定しているストッパーを取り外します。

カナケンディスポ鍼輝 タブ付

カナケンディスポ鍼輝 タブ付	100本入	KN-145
	1000本入	KN-144

1箱(100本入)から購入可。
 医療機器認証番号：220AGBZX00166000

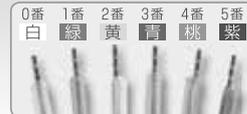
クリックオープンタイプ タブなし

カナケンディスポ鍼 **輝**
Kagayaki OP type

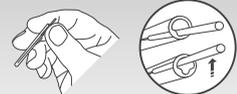


クリックオープン針管

鍼と鍼管の固定はクサビ式のストッパーから、クリックオープン(特許申請中)に変更になります。ゴミがなくなり、作業がスピーディになりました。



●針の外し方



固定されている針をカチッと音がするまで少し力を入れて押し、針管から外します。

カナケンディスポ鍼輝 OPタブなし

カナケンディスポ鍼輝 OPタブなし	100本入	KN-132
	1000本入	KN-120

1箱(100本入)から購入可。
 医療機器認証番号：220AGBZX00166000

4Pタイプ 鍼×4、鍼管×1

カナケンディスポ鍼 **輝**
Kagayaki 4P type



●使用方法



- 1パックに鍼が4本と鍼管が1本。
- 使い易い八角鍼管になりました。
- 携帯に便利な薄型パッケージ。
- 一番リーズナブルな製品です。

- a) パックを円のように開けてください。
- b) 鍼管を取り出してから鍼を取り出します。針体に触れないようにしてリユースから鍼管に挿入します。

カナケンディスポ鍼輝 4P(200本入)

KN-146	1,218円	(本体価格 1,160円)
--------	--------	---------------

1箱200本入(1パック4本入×50パック)
 医療機器認証番号：220AGBZX00166000

価格が魅力の輝4Pタイプは
 1本あたり **5.8円**(税別)

「タブ付」と「タブなし」は、お客様のご都合に合わせて様々な組み合わせでご購入いただけます。

CASE A 同一サイズで「1,000本」
 (1箱100本入×10箱)

価格	6,300円	(本体価格 6,000円)
1本あたり	本体	6.0円

CASE B 違うサイズを混合で「1,000本」
 (1箱100本入×10箱) ※値引き処理による表示金額。

価格	6,510円	(本体価格 6,200円)
1本あたり	本体	6.2円

CASE C バラで1箱ずつ
 (1箱100本入)

価格	735円	(本体価格 700円)
1本あたり	本体	7.0円

CASE D 10ケース以上で「10,000本以上」
 ※1ケース(1箱100本入×10箱)ごとに違うサイズでも可。

価格	60,900円~	(本体価格 58,000円)
1本あたり	本体	5.8円

長さ 太さ	1寸	1寸3分	1寸6分
	鍼柄+30mm	鍼柄+40mm	鍼柄+50mm
0番 φ0.14mm	白	白	
1番 φ0.16mm	緑	緑	緑
2番 φ0.18mm	黄	黄	黄
3番 φ0.20mm	青	青	青
4番 φ0.22mm		桃	桃
5番 φ0.24mm		紫	紫

※ご希望サイズのサンプルをお申し付けください。

●お支払いはすべて代金引換です。(税別6,000円以上で代引手数料無料) ●税別10,000円以上で送料・代引手数料無料。●ご注文は、電話、FAX、インターネットより承ります。

総発売元 **株式会社 カナケン**
 本社：〒225-0002 神奈川県横浜市青葉区美しが丘2-17-39
 TEL. 045-901-5471代 FAX. 045-902-9262
 オンラインショップ <http://e-kenkou.jp/> E-mail info@kanaken.co.jp

大阪営業所：TEL. 06-6935-3016代 FAX. 06-6935-3017
 新潟営業所：TEL. 025-286-0521代 FAX. 025-286-8870
 福島営業所：TEL. 024-961-7211代 FAX. 024-961-7221
 仙台出張所：TEL. 022-287-6273代 FAX. 022-287-6218
 千葉出張所：TEL. 043-286-6466代 FAX. 043-286-6366



セイリンのこだわりが生み出した 鍼尖が丸い新しい鍼

セイリン鍼

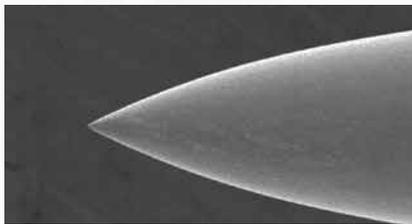
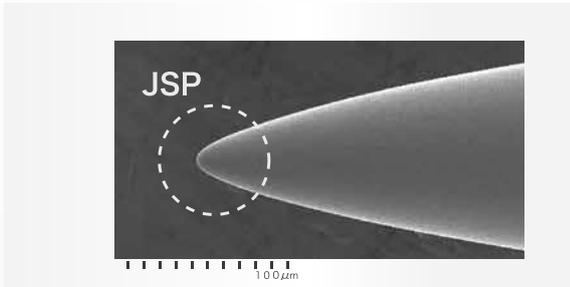


セイリンの技術力だからできた 世界で一番優しい鍼『JSP』

これまでの技術に加え、セイリンの最先端の加工技術「超先端研磨加工」の確立によって、今まで成し遂げることができなかった「鍼尖の丸い鍼」を量産することに成功いたしました。鍼尖が丸くなることで、「使用感がやさしい」「刺入がとてもスムーズ」などの評価をいただいています。

※使用感には個人差があります

- よく頂く評価
- 1 辺りが柔らかい
- 2 スムーズな刺入感
- 3 響のポイントのみ感じる



実際に使用されている先生方からの声

鍼が初めての方にも安心して使用できます。鍼好きの患者さんを増やすには絶好の商品ですね。丸い鍼先なのに痛くないということで、話のネタにもなります。



福岡県春日市 後藤はりきゅう整骨院 後藤浩亮先生

今まで他のメーカーの鍼を使っておりましたが、今はJSPを使用しています。刺入痛が少なく、鍼末体験の方でも治療が容易です。恐怖感をとりのぞけるので、次回からも安心して通っていただけます。患者さんの緊張感もないので、刺入も楽です。また鍼を刺しづらい箇所でも使用できる場合が多く、治療の幅が広がると思います。



東京都港区 養生堂鍼灸院 池田泰代先生

痛みにも敏感な方や美容鍼のような顔面部への施術に特に使用しています。鍼の運びがとてもめらかなので目的の深さまで容易に到達できます。その分切皮時はもちろん、刺入時も痛みが出にくいようです。鍼の扱いにまだ慣れていない、新人さんにもお勧めいたします。



北海道札幌市 天池針灸整骨院 小林広実先生

鍼による治療をご経験された事のない方は、痛みへの不安を感じられる場合が多く、緊張によって痛みが生じる事があります。JSPは従来の鍼とは違い、先端が丸く刺入がスムーズに行えるので、施術をさせていただく際の不安を取り除きやすく、はじめて鍼治療を受けられ方や他の治療院で施術のご経験がある方からも喜ばれております。



大阪府八尾市 鍼灸サロン花仙 有田朋史先生

鍼治療をご経験された事のある方、ない方のほとんどの患者様が、その刺激の少なさに感動されます。またスポーツマンへのケア、顔鍼など繊細なニーズに答えてくれるJSPの刺入感は治療側にとっても非常に優しく使用できます。



静岡県富士市 平田ハリキョウ接骨院 平田廣先生

No.	02	01	1	2	3	5
カラーコード	ダークグリーン	グリーン	レッド	アイボリー	スカイブルー	バイオレット
線径 (mm)	0.12	0.14	0.16	0.18	0.20	0.25
鍼長 30mm	○	○	○			
40mm	○	○	○	○	○	●
50mm				○	○	●